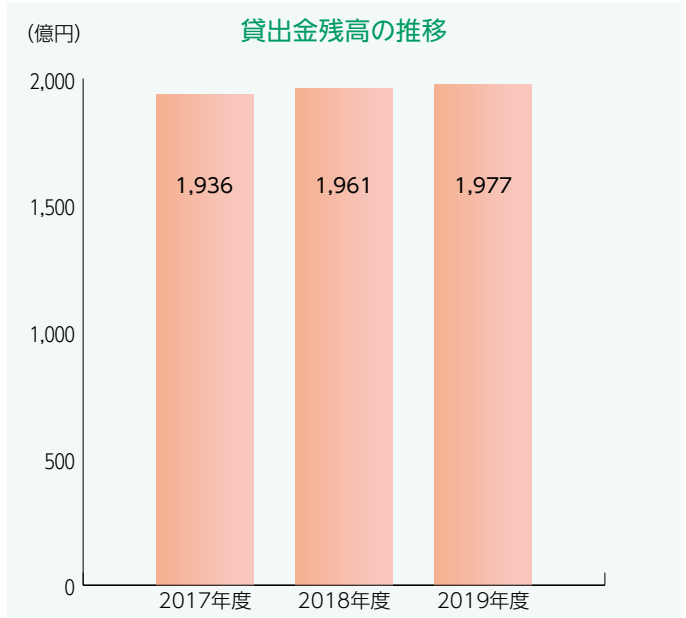


経営基盤の充実について

預金・積金、貸出金の状況

2020年3月末の預金・積金残高は3,926億3千7百万円となり、前期末比43億4千4百万円増加、増加率は1.11%でした。科目別では要求性預金が増加し、定期性預金が減少しました。また、人格別では個人、法人が増加し、地方公共団体が減少しました。2020年3月末の貸出金残高は1,977億4千万円となり、前期末比16億2千8百万円増加、増加率は0.83%でした。科目別では証書貸付、当座貸越が増加し、割引手形、手形貸付が減少しました。また、属性別では事業先、個人が増加し、地方公共団体が減少しました。

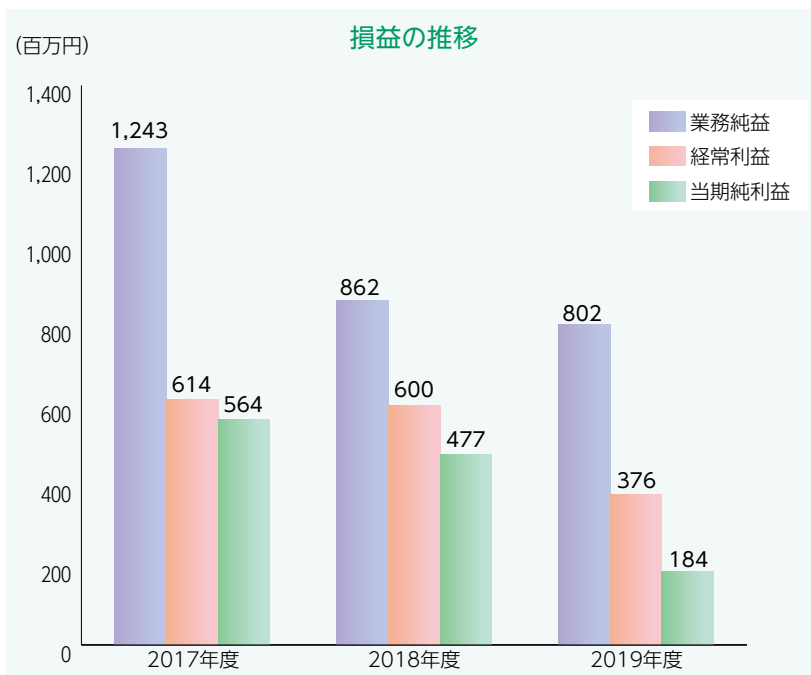


損益の状況

2019年度の業務純益は8億2百万円となり、前年度比5千9百万円減少、減少率は6.89%でした。主な要因は、貸出金および有価証券等の利回低下により資金運用収益が減少したことによるものです。

経常利益は3億7千6百万円となり、前年度比2億2千3百万円減少、減少率は37.25%でした。

当期純利益は1億8千4百万円となり、前年度比2億9千2百万円減少、減少率は61.27%でした。



用語説明

●業務純益

金融機関の基本的業務で得た収益から費用を差し引いた利益です。

●経常利益

基本的業務とその他の業務で得た収益から費用を差し引いた利益です。

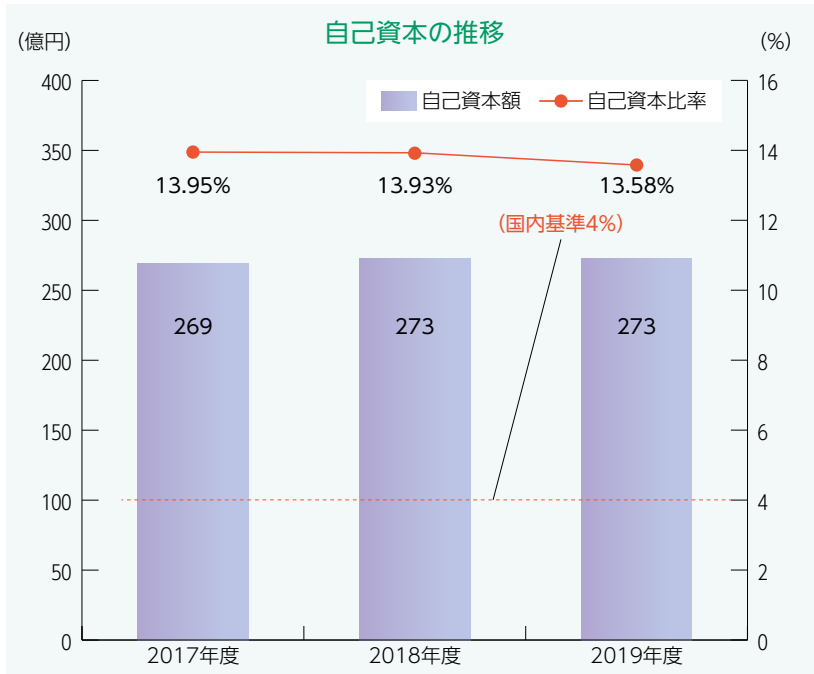
●当期純利益

経常利益に特別利益・特別損失を加減し、法人税等を控除した最終利益です。

自己資本の状況

2020年3月末の自己資本額は、273億2千7百万円となり、前期末比2千2百万円増加しました。また、自己資本比率は13.58%となり、前期末比0.35%低下しました。主な要因は、分母であるリスク・アセット等の増加によるものです。なお、自己資本比率は国内基準4%の3倍以上の水準にあり、引き続き安定した健全性を確保しています。

当金庫の自己資本比率(2019年度)は**13.58%**です

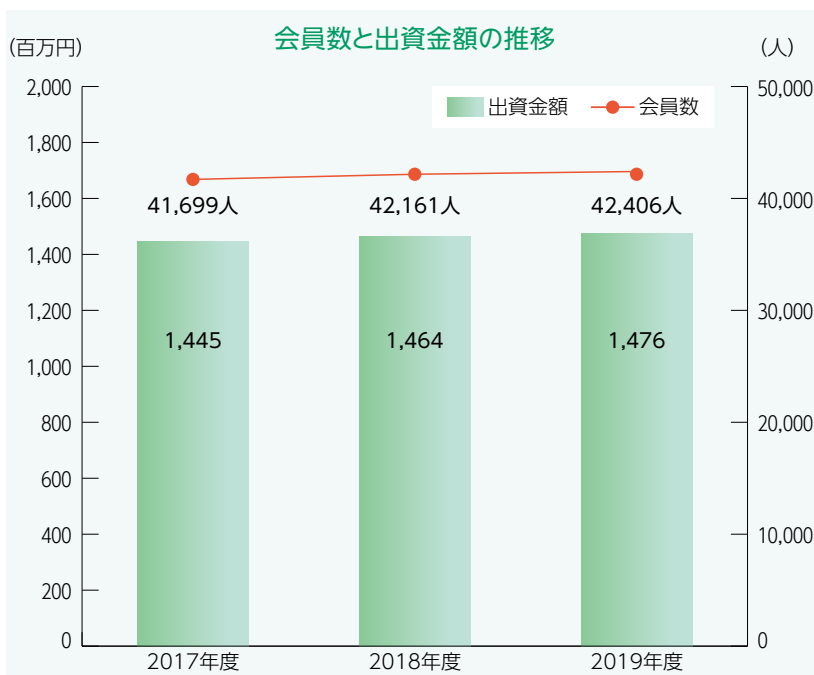


会員数と出資金額の状況

信用金庫は、地域の事業者や住民のみなさまが会員となって、互いに助け合い、ともに発展していくことを目的に運営される「相互扶助」を基本理念とした地域のための金融機関です。

2020年3月末の出資金額は14億7千6百万円となり、前期末比1千1百万円増加しました。

また、会員数は42,406人となり、前期末比245人増加しました。



▲「MIRAI感謝の集い」の様子

2019年9月10日、別府ビーコンプラザにて、毎年恒例となっている会員のみなさまのためのイベント「MIRAI感謝の集い」を開催しました。

「元祖ものまね女王」清水ミチコさんをお招きし、数々のものまねレパートリーで会員のみなさまを魅了し、楽しいひと時を過ごしていただきました。

